

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課
担当課長名： 下保 修

事業名	主要地方道 <small>やまわきおおや</small> 山脇大谷線（静岡南北道路）	事業区分	地方道	事業主体	静岡市
起終点	自：静岡県静岡市葵区下 至：静岡県静岡市葵区加藤島	延長	3.6 km		
事業概要	主要地方道山脇大谷線は、静岡市葵区下から同市駿河区大谷に至る延長約1.4 kmの主要な幹線道路であるほか、地域高規格道路静岡南北道路に位置付けられた重要な路線である。当工区は、第二東名自動車道（仮）静岡ICから国道1号静岡バイパスをつなぐ延長3.6 kmの4車線（暫定2車線整備）である。				
H8年度事業化	H3年度都市計画決定	H8年度用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	349億円	事業進捗率	57.6%	供用済延長	0 km
計画交通量	11,900台/日				
費用対効果分析結果	B/C （事業全体）2.4 （残事業）7.7	総費用 （残事業）/（事業全体） 106/341億円 （事業費：103/338億円 維持管理費：3.0/3.0億円）	総便益 （残事業）/（事業全体） 816/816億円 （走行時間短縮便益：744/744億円 走行費用減少便益：56/56億円 交通事故減少便益：16/16億円）	基準年	平成18年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（ISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行可能） ・災害への備え（緊急輸送路通行止め時に大幅な迂回を必要としない代替路線）他7項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	第二東名自動車道へアクセスする地域高規格道路道路であり、交流促進・物流の効率化や緊急輸送路の強化などに資する道路として期待が高く、地元から早期整備が求められている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	第二東名自動車道の供用時期が公表され、供用に向けた期待が高まっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得については概ね完了しており、事業は着実に進んでいる。現在は、下部工全64基中58基が完了しており、連続高架橋の工事も推進している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	第二東名自動車道の供用に併せ、事業を推進していく。				
施設の構造や工法の変更等	掘削土砂の現場内流用や軟弱地盤における杭基礎の新技術活用（鋼管ソイルセメント杭）などコスト削減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。